

## 職員提案（デジタル関係）について

DX戦略本部事務局

## 1 募集期間

令和3年6月21日から令和4年3月31日まで

## 2 提案状況

提案数：217件（12月末現在）

〔内訳〕

- ・通信環境の改善：61件
- ・一人1台PC及び共通利用ソフトウェア関係：46件
- ・テレワーク環境の整備：26件
- ・AI・RPA・チャットツールの利用促進：10件
- ・その他

## 3 提案への対応

## (1) 関係各課の回答状況

区分	割合	例
実現可能	29%	インターネット通信環境の改善
一部実現可能	34%	電子決裁対象事務の拡大、キャッシュレス化
検討中	9%	グループウェアと文書管理システムの一体化
実現困難	28%	私用PCの職場での利用

(2) 令和3年6月から12月までの職員提案については、今年度末に回答を付して庁内サーバで紹介する。

(3) 提案内容については、引き続き関係各課等で対応を検討する。

職員提案（一部）

No	提案内容	対応（回答案）
1	<p><b>文書校正ソフトの導入による文書事務の自動化</b></p> <p>【現状と課題】 文書事務においては、用字・用語のチェックを職員が目視で実施しているため、負担になっている。</p> <p>【改善方法】 校正用ソフト(Just Right!6)を活用した文書事務の自動化。</p>	<p>校正用ソフトにより、起案文書等の表記の統一や誤字脱字のチェックが可能となり、負担軽減が図られると考えられることから、導入を検討。</p> <p>【検討中】</p>
2	<p><b>会議室案内掲示板のデジタル化</b></p> <p>【現状と課題】 第二庁舎と総合庁舎の1階に会議室別の会議等の案内掲示板があるが、用紙の作成・印刷・掲示・会議後の撤去をする必要がある。</p> <p>【改善方法】 会議等案内用のディスプレイを設置し、表示内容を担当職員が一人1台PCで入力できるようにする。</p>	<p>ディスプレイの設置については、紙資源の節約や職員の負担軽減など効率化につながると考えられることから、初期費用や費用対効果について検討。</p> <p>【検討中】</p>
3	<p><b>監査資料の自動作成</b></p> <p>【現状と課題】 各システムのデータが連動していないため、入力作業が発生するなど負担になっている。</p> <p>【改善方法】 監査資料について、財務会計システムに情報があるにも関わらず、エクセルに手入力しているため、システムを改修するなど、監査資料の様式で出力できるようにする。</p>	<p>監査資料様式としての出力機能の追加は、更なる業務効率化につながることから監査担当と連携して検討。</p> <p>【検討中】</p>
4	<p><b>会計年度任用職員等に係る給与事務のシステム化</b></p> <p>【現状と課題】 再任用職員や会計年度任用職員の給与事務は、経理担当者が出勤日等を書面で確認の上、手作業で支出命令書を作成している。</p> <p>【改善方法】 支払対象者のうち、再任用職員及び会計年度任用職員については勤怠データと報酬の支払い(税控除等を含む)を一元的に処理できる給与システムを導入する。対象職員は、出勤簿の登録や有給休暇の取得等を自らパソコンで入力し、その記録をもとに毎月の報酬支払いを電算処理する。</p>	<p>再任用職員(フルタイム)については、既に給与システムで対応。再任用職員(短時間)については、令和5年4月から給与システムの改修により対応する予定。会計年度任用職員については、令和4年度から一部所属においてRPAによる事務処理を試行し、全庁展開を検討。</p> <p>【一部実現可能】</p>
5	<p><b>情報発信の多様化</b></p> <p>【現状と課題】 情報発信の多角化・多様化を進める必要がある。</p> <p>【改善方法】 LINEやアプリを活用し、デジタルで行政窓口の紹介や情報発信を行う。メルマガやDM感覚で県の取組を発信するなど、情報発信のあり方を変えていく。併せて、AIを駆使して、よくある検索ワードから県民が知りたい情報を得られるようにする。</p>	<p>プッシュ型の情報発信は、県及び県民双方にとって有効な手段であることから、実施に向けて公式ウェブサイトへの機能追加(例：AIチャットボットの導入)やSNSとの連携等も含めて総合的に検討。</p> <p>【検討中】</p>